

平成28年度 第1回徳島労働局公共調達監視委員会審議概要

開催日時	平成28年10月3日 13:30～	
会場	徳島地方合同庁舎5階会議室	
委員（敬称略）	委員長 南 育広	大学教授
	委員 新見 和男	税理士
	委員 島内 保彦	弁護士
事務局	徳島労働局総務課	
審議対象期間	平成28年1月1日～平成28年6月30日契約締結分	
意見の具申又は勧告	なし	

- 1 委員の互選により南育弘委員を委員長として選任。
- 2 対象期間中の対象契約件数は44件であり全数審議。
- 3 審議案件に対する委員からの質疑等及び質疑等に対する事務局回答

公共工事（競争入札）審議件数1件	
質疑等なし	
公共工事（随意契約）審議件数0件	
物品・役務等（競争入札）審議件数31件	
・徳島労働局官用車1台ずつの調達（平成28年1月19日契約分）	
質疑等	回答
徳島労働局官用車1台の調達において総合評価方式の評価点を付けているが、燃費の良し悪しで選んでよいのか。燃費の信頼性が崩れているのではないか。	燃費の数値だけではなく、仕様書のとおりCO ₂ の削減・排出の基準を設けた上で予定価格を作成している。これについては、当局から本省に対するCO ₂ の排出削減報告があるためであり、総合的に判断した調達結果である。車の性能としては、アイサイト等もあるが、現時点では仕様書内では求めている。
・平成28年度消耗品①（トナー類）（リコー製）、②（トナー類）（リソー製）の年間単価契約	
質疑等	回答

<p>それぞれ品物の性質上、予定価格と契約金額でそんなに差が開かないのでは。予定価格の設定はどうなっているのか。</p>	<p>①と②とも過去の購入実績等により予定価格を算出している。なお、①の予定価格と落札率に差が生じていることについては、予定価格を作成する際には印刷装置本体の納入の業者が応札に来るという理由で低くするという事はしていない。</p> <p>②についても同様であるが、予定価格と落札率の差が少ないのは落札業者の割引率の差によるものと考えている。</p>
--	--

・平成28年度各労働基準監督署及び各公共職業安定所等機械警備業務委託契約

質疑等	回答
<p>予定価格と落札価格の差が非常に大きいけど予定価格の算出は適正であるのか。</p>	<p>予定価格については、昨年度の実績と他2社の参考見積書を参考として、その平均を算出した上で作成した結果、落札価格との間で差が生じた。また、予定価格と落札価格の差が大きい要因としては、ここ数年間、当該業者が落札しており、機械設備等を含め、設備費等が軽減できることが理由と考えている。</p>

・平成28年度徳島公共職業安定所・徳島障害者職業センター合築庁舎における一般廃棄物収集運搬業務委託契約

質疑等	回答
<p>何故、応札が1社だけとなっているのか。</p>	<p>仕様書の収集時間や回収回数等からするとかなりやる気がないと応札に参加することは厳しいと考えられる。また、この契約のためだけに新たに人を確保することは、勝手も分からないために改めて新規参入は難しいのかもしれないと考えている。落札業者はここ</p>

	数年、当該業者が落札しており、契約内容も適正に履行されているところである。
・平成28年度徳島公共職業安定所・徳島障害者職業センター合築庁舎における駐車場交通誘導警備業務委託契約	
質疑等	回答
<p>予定価格のたて方について教えていただきたい。落札業者が提示した落札価格にも少し差が出ているのではないか。過去の落札実績を考えると予定価格が低くてもいいのではないか。</p>	<p>予定価格は「予定価格調書内訳」のとおり当労働局で把握している賃金等をもとに作成している。なお、予定価格と落札価格との差は一般競争を行った結果だと考えている。</p>
・平成28年度ガソリン購入	
質疑等	回答
<p>応札者が1社だけなのは何故なのか。</p>	<p>仕様書には県内の13官署において半径5km以内に給油できる給油所があることとなっており、ほぼ県内全域を網羅する必要があるため、条件を満たした業者が応札に参加した結果、当該業者が落札したものと考えている。</p>
・平成28年度レンタカー賃貸借単価契約	
質疑等	回答
<p>「予定価格積算内訳書」の中でA社の市場価格が異常に安いのは何故なのか。</p>	<p>車種を軽自動車と小型普通自動車として大きくりに区分していることもあり、借上車両の仕様等が仕様書の範囲内であればメーカーによっては保有車両を低価格とすることが可能のためかと考えている。</p>
・平成28年度 文具類の年間単価契約	
質疑等	回答

<p>連名契約として各省庁の持ち回りで実施しているが、前年度の実績として情報提供を受けるのか。また、単価の積算根拠はどうか。</p>	<p>特に前年度の実績の情報提供を受けたり、参考としたりはしていない。文房具の調達についてのノウハウは当局も持っているためである。また、単価の積算根拠は、業者の参考価格とネット上の参考価格を平均して、購入予定数量を積算して予定価格を算定している。各省庁とも合同庁舎の入居官署であるため効率化と予算の削減を図るために連名契約として調達を実施しているところである。</p>
<p>・平成28年度 専門家派遣・相談等支援事業（徳島県最低賃金総合相談支援センター）</p>	
<p>質疑等</p>	<p>回答</p>
<p>落札業者のみの1社で応札して落札しているが、予定価格と落札価格の差はどのように生じているのか。</p>	<p>予定価格は別添の「予定価格調書内訳」とおり平成26年度の実績額を参考に算出して積算し、入札基準価格とするために8%を割り戻して作成している。予定価格と落札価格の差は、落札業者は前年に引き続き、契約を締結することで管理費や消耗品費等の削減が可能であり、過去の予定価格実績等を勘案して一般競争入札に参加した結果であると考えている。</p>
<p>物品・役務等（随意契約） 審議件数12件</p>	
<p>質疑等 なし</p>	